

社会資本総合整備計画（事後評価）

計画の名称	三沢市における循環のみちの実現		
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	三沢市
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。		
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 下水道処理人口の普及率を55%（H23）から60%（H27）に増加させる。 		
定量的指標の定義及び算定式			備考
	下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人） / 総人口（人）		定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H23当初） 55% 中間目標値（H25末） 57.5% 最終目標値（H27末） 60%
全体事業費	合計（A+B+C）	921百万円 918百万円	A 824百万円 821百万円 B 0百万円 0百万円 C 97百万円 97百万円
			効果促進事業費の割合 C / (A + B + C) 10.5% 10.6%

上段：計画 下段：実施

事後評価

○事後評価の実施体制 三沢市下水道課が実施する	事後評価の実施時期 H29年3月
	公表の方法 HP等で公表

1 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																				
A1 下水道事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
											H23	H24	H25	H26	H27					
三沢処理区																				
A1-1	下水道	一般	三沢市	直接	-	分流	新設	第1処理系統枝線	管渠φ200~150 A=39ha L=5.1km 管渠φ200~150 A=28.6ha L=4.1km	三沢市						322 253				
A1-2	下水道	一般	三沢市	直接	-	分流	新設	第2処理系統枝線	管渠φ200 A=30ha L=3.9km 管渠φ200 A=31.3ha L=4.5km	三沢市						256 328				
A1-3	下水道	一般	三沢市	直接	-	分流	全種	春日台地区外調査・設計等	実施設計1-26.5km, 効率的事業実施の基本計画策定外 実施設計1-25.2km, 効率的事業実施の基本計画策定外	三沢市						114 109				
A1-5	下水道	一般	三沢市	直接	-	分流	新設	第2処理系統幹線	管渠φ300~200 A=4.4ha L=1.5km 管渠φ300~200 A=4.4ha L=1.4km	三沢市						132 131				
											小計（下水道事業）			824 821						
B 関連社会資本整備事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考				
										H23	H24	H25	H26	H27						
														合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
C1-1	下水道	一般	三沢市	直接		新設	第1処理系統端部枝線(単独管)整備	汚水管φ200~150 A=14ha L=1.2km 汚水管φ200~150 A=1.9ha L=0.3km	三沢市						29	
C1-2	下水道	一般	三沢市	直接		新設	第2処理系統端部枝線(単独管)整備	汚水管φ200~150 A=20ha L=2.4km 汚水管φ200~150 A=6ha L=1.3km	三沢市						68	
										合計					97	
一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C1-1	基幹事業である枝線整備(A1-1)と接続した端部枝線(単独管)整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に資する。															
C1-2	基幹事業である枝線整備(A1-2)と接続した端部枝線(単独管)整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に資する。															

2 事業効果の発現状況、目標値の達成状況								
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・下水道び整備により、汚水排除による生活環境の改善及び公共用水域の水質保全が図られた						
II 定量的指標の達成状況		指標①(下水道の普及率)	<table border="1"> <tr> <td>最終目標値</td> <td>60.0%</td> <td rowspan="2">目標値と実施値に差が出た要因</td> </tr> <tr> <td>最終実施値</td> <td>61.8%</td> </tr> </table>	最終目標値	60.0%	目標値と実施値に差が出た要因	最終実施値	61.8%
最終目標値	60.0%	目標値と実施値に差が出た要因						
最終実施値	61.8%							
III 定量的以外の交付対象事業の効果の発現状況								

3 特記事項(今後の方針等)	
・引き続き効率的な整備を行っていく。	

(参考様式3) 水の安全・安心基盤整備

